

平成 24 年度製剤と粒子設計部会行事



「第 5 回 標準処方研究フォーラム」

参加募集・プログラム

本フォーラムでは固形製剤の諸問題を実際の実験データに基づいて討論することを目的として開催してまいりました。第 4 回までに、「デザインスペースを指向したパラメーター解析」をテーマとし、実際に実験を行い、「滑沢度」を CQA（重要品質特性）とした研究成果を報告してきました。

今年度は、造粒操作を伴う打錠プロセスに取組み、新たに「造粒度」を CQA とした解析を行い発表します。初めて参加される方にも標準処方研究の目標がよく理解できるように、これまでの標準処方の成果、滑沢度から造粒度へという研究の変遷の解説講演を各先生にお願いしております。

下記の要領で開催しますので、奮って、ご参加いただきますようご案内いたします。製剤と粒子設計シンポジウム同様、製剤および粒子設計に関する討論の場となりますよう多くの皆様のご参加をお待ちしております。

- と き 平成 24 年 11 月 22 日（木）
講演会 10:00～17:15 懇親会 17:30～（予定）
- と ち ろ 名城大学薬学部 新 1 号館 7 階ライフサイエンスホール
〒468-8503 愛知県名古屋市天白区八事山 150 番地
Tel 052-832-1781（代表）
- 主 催 粉体工学会・製剤と粒子設計部会
共 催 （社）粉体工業技術協会・粒子加工技術分科会
- 参 加 費 講演会 主催・共催学協会員
会社関係 ￥13,000
大学・公立研究機関関係 ￥8,000
学生 ￥4,000
非会員 ￥20,000
懇親会 ￥5,000
- 振 込 先 金融機関 十六銀行岐阜大学前出張所
口座名 製剤と粒子設計部会 標準処方フォーラム 代表 竹内洋文
口座番号 （普）1177815
※11月9日までに、お振込みください。
- 申 込 方 法 添付の専用の申込用紙を用いて Fax、または、E-Mail によりお申込みください。
FAX : (058) 230-1022
E-Mail: rs-apply@gifu-pu.ac.jp
なお、参加申込用紙は、部会 HP よりダウンロードできます。
URL: <http://www.ppd-gifu.com/>
- 申 込 締 切 2012 年 11 月 1 日（木）（定員 150 名になり次第締め切らせていただきます）
- 問 合 せ 先 〒501-1196 岐阜市大学西 1-25-4 TEL・FAX (058) 230-1022
岐阜薬科大学 薬物送達学大講座 製剤学研究室内 製剤と粒子設計部会事務局
E-Mail: ryuushi-sekkei2005@cream.plala.or.jp
*パネル展示に関してもこちらにお問い合わせください。

ープログラムー

総合司会

10:00-10:05 **開会挨拶** 竹内 洋文 (岐阜薬科大学)

10:05-10:30 **【解説講演】** 座長 砂田 久一 (前標準処方研究会会長、名城大学名誉教授)

「標準処方で製した湿式造粒顆粒の成形性に関する研究」について
(前標準処方研究会副会長 三重県健康福祉部メディカルサポーター) 長谷川 正樹

10:30-12:30 **【立会実験報告】** 座長 湯浅 宏 (松山大学)

造粒度をCQAとした立会実験の概要

(塩野義製薬) 谷野 忠嗣

立会実験報告

1) 高速攪拌造粒操作における重要パラメータと製錠顆粒品質

(パウレック) 長門 琢也

2) 湿式顆粒物性の評価および打錠と錠剤物性評価

(信越化学工業) 丸山 直亮

3) 実用内部摩擦角による造粒物の評価

(松山大学) ○中村 承平, 坂本 宜俊, 湯浅 宏

4) 加振移送式流動性測定装置を用いた造粒物の評価

(大日本住友製薬) 村上 貴之

12:30-13:00 座長 石川 達也 (武田薬品工業)

パネルショートプレゼンテーション

13:00-14:20 **昼食・パネル**

14:20-15:20 **【立会実験報告(続き)】** 座長 山下 計成 (アステラス製薬)

5) 圧縮試験機を用いた造粒物の評価

(不二パウダル) 浅井 直親

6) 実践的線形プロセス解析

(アステラス製薬) ○則岡 正, 山下 計成

7) 実践的非線形プロセス解析

(キッセイ薬品工業) ○武田 泰浩, 山田 昌樹

15:20-15:40 **コーヒーブレイク・パネル**

15:40-16:40 **【関連研究報告】** 座長 山田 昌樹 (キッセイ薬品工業)

- 1) 固液気系の充填状態に基づく攪拌造粒の添加液率および造粒指数
(大阪ライフサイエンスラボ) 寺下 敬次郎
- 2) 高速攪拌造粒における錠剤物性におよぼす各種パラメーターの解析
(フロイント産業) 山中 邦昭
- 3) 湿式造粒工程における錠剤硬度の粉体レオメトリーによる予測に関する可能性検討
(マルバーン) ○笹倉 大督, (パウレック) 長門 琢也, (岐阜薬大) 竹内 洋文

16 : 40-17 : 10 **【まとめ・総合討論】** 谷野 忠嗣 (塩野義製薬)

17 : 10-17 : 15 **閉会挨拶** 湯浅 宏 (松山大学)

17 : 30- **懇親会** 新1号館2階 食堂 (ダイニングハーブ)

製剤と粒子設計部会事務局宛： FAX(058) 230-1022

「第5回 標準処方研究フォーラム」 参加申込用紙

		平成 24 年	月	日
ふりがな				男・女
参加者氏名				演者 <input type="checkbox"/>
所属学協会名	1. 粉体工学会 2. 日本粉体工業技術協会		一般・学生	
大学・会社名	TEL			
	FAX			
	メールアドレス			
連絡先（住所）	〒			

メールアドレスの記入漏れにご注意ください。

[送金内容]（懇親会参加の方は懇親会参加費も含んだ金額をご記入ください）

						円
--	--	--	--	--	--	---

一旦納入された参加費等は、原則としてお返し致しかねますのでご了承下さい。
参加申込み後ただちに振り込めない場合は下欄に記入して下さい。

<送金が遅れる場合> _____ 月 _____ 日 頃振込予定

[備考]